CampbellCollaboration

Plain Language Summary **2018**
International Development Coordinating Group

トレーニングと革新及びテクノロジーの介入は アフリカの小規模農家の暮らしを向上させることができるが、厳密な研究はほとんどない

アフリカの小規模農家は、トレーニングに参加する意思も能力もある

トレーニングの提供や、新しい農業技術またはその実践の採択を奨励する介入により、アフリカの小規模農家の暮らしを向上させる可能性が示されている。例えば、農家が橙色品種のさつまいも(ビタミンAを多く含むさつまいも)を栽培するのを支援することは、栄養状態を向上させるのにつながる。しかしながら、このような介入の効果を評価するために厳密な研究は行われていない。

このレビューでは何を評価したのか？

アフリカで生活している多くの貧しい人々は、生存のために小規模農場に依存している。このような農家がより多くの農作物を生産し、農場から利益を得ることを支援することにより、地域の貧困削減に努めることに大きな関心が寄せられている。こうした介入には農家へのトレーニングを養成し、新しい農作物の種類や肥料のような、新しい農業技術や生産品の紹介が含まれる。政府や国際支援機関によって、これらのアプローチに相当多額の投資がなされてきたが、食糧安全保障や経済的成果についての介入の効果は不透明である。このレビューでは、アフリカの小規模農家の経済的成果及び食糧安全保障についてのトレーニング、革新、新しいテクノロジーの有効性を検証する。

どのような研究があったのか？

このレビューの研究としての採択条件を満たすために、次の条件が必要であった。a)アフリカで実施された研究であること; b)対象者として小規模農家を主とすること; c)トレーニングプログラム、及び革新と新しいテクノロジーの促進を評価している; d)経済的成果もしくは食糧安全保障に対する介入の効果を測定している; e)実験的・準実験的方法を用いていること。

レビューには19件の研究が含まれている。即ち、トレーニングプログラムについての研究が5件、そして革新と新しいテクノロジーについての研究が14件である。革新に関するほとんどの研究が、新しい農業投入物の効果についての評価であった。

このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューでは、アフリカの小規模農家の経済的成果及び食料安全保障に対するトレーニング、イノベーション、新しいテクノロジーの効果を調査する。このレビューは、実験的・準実験的方法を用いた19件の研究をまとめた要約である。

このレビューがどれぐらい最新のものか？
このレビューの著者は、1990年から2015年2月の間に発行された研究を検索した。このキャンベル系統的レビューは2015年2月に発行されたものである。

キャンベル共同計画とは？
キャンベル共同計画は、系統的レビューを公開している、国際的・自主的・非営利の研究ネットワークである。我々は、社会および行動科学のプログラムに関するエビデンスの質を評価し、まとめている。我々の目的は、人々がより良い選択そして政策決定ができるように手助けをすることである。

この要約について
この要約はキャンベル系統的レビュー、2015:16 'The Effects of Training, Innovation and New Technology on African Smallholder Farmers' Economic Outcomes and Food Security: A Systematic Review' by Ruth Stewart, Laurenz Langer, Natalie Rebelo Da Silva, Evans Muchiri, Hazel Zaranyika, Yvonne Erasmus, Nicola Randall, Shannon Rafferty, Marcel Korth, Nolizwe Madinga and Thea de Wet (DOI: 10.4073/csr.2015.16).に基づき、Ruth Pittが用意したものである。 Tanya Kristiansenがこの要約の再デザイン、編集を担当した。この要約の作成のためthe American Institutes for Researchにより財政支援を受けた。ここに謝意を表する。

International Initiative for Impact Evaluation

AIR
American Institutes for Research

このレビューにおける主要な研究結果は何か？

イノベーションとテクノロジーが小規模農家の暮らしに与える影響は何か？
肥料や農作物の品種など、新しい生物学的または科学的投入物を小規模農家に提供する介入は、農家の収入と食糧安全保障を向上させる。特に、中が橙色品種のさつまいもを農家に教えることで、栄養状態が改善される。農業における慣習を変える介入の効果を評価するための良質な研究はほとんど実施されていないが、そのような介入が短期的に農家の収入を増加させる可能性があるということが、いくつかの評価の結果より示唆される。

トレーニング、イノベーション、テクノロジーの介入は、アフリカでの小規模農家の暮らしを向上させることができるが、厳密な研究がほとんど行われていない。

小規模農家の暮らしに対するトレーニングが及ぼす影響は何か？
小規模農家にトレーニングに提供する介入は農家の収入を増加させる可能性があるが、そのような介入を評価するために利用できるほど良質な研究はほとんどない。

この介入はどのような働きをしたか？
アフリカの小規模農家がトレーニングに参加し、また新しい農業的アドバイスを採用する意思も能力もあるということが、これらの介入における正の影響から示唆される。

このレビューからわかることは何か？
小規模農家を支援する介入は世帯収入及び食糧安全保障の双方を向上させる可能性があることから、このような介入への関心が高まっている。新しい生物学的または化学的援助、特に中身が橙色品種のさつまいもを小規模農家に提供することは、収入と栄養状態の改善につながることが、このレビューの中で示された。他の種類のトレーニング、イノベーション、新しいテクノロジーの介入を評価するためには、さらに品の高い研究が必要である。そのような介入が持続可能で長期的な効果をもたらすのかどうか、また農家やそのコミュニティに害を及ぼすのかどうかについて評価するための研究も必要である。

The Campbell Collaboration
info@campbellcollaboration.org

Website:
www.campbellcollaboration.org

EN-0216